

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	技 術	科 目	期 間	1学期前半
中 高・学 年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	4 / 39	副 教 材 1
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4

年間の到達目標	実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。(ものづくり及びコンピュータに関する学習を通して将来の人間形成に生かされる技術的素養の育成をめざす。)
---------	--

到達目標 (含定期テスト)		キーボードの操作を身に付けさせ、ソフトウェアの機能を理解させる。コンピュータの基本的な構成と機能を理解させるとともに、コンピュータの起動、終了、マウスの操作を身に付けさせる。		
月	単元・題材	主たる指導項目	主 な 評 価 規 準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法
4	2 コンピュータを起動しマウスを使ってみよう	コンピュータの起動、終了、マウスの操作	コンピュータの起動・終了・マウスの操作が定められた手順で操作できる。 コンピュータの起動と終了の方法を理解し、その操作方法を説明できる。	ワークシート
	3 キーボードを操作してみよう	文字の入力・削除 漢字変換	全角文字と半角文字のちがいに気づき、バランスのよい文章を入力しようとしている。 キーボードのキーに割り当てられている文字や記号を打ち分けて、的確に入力することができる。	作成文書
5	4 文書を作成し、保存してみよう	カット、コピー・ペースト、フォルダと階層	ファイルを保存する際に、フォルダにわかりやすい名前をつけるなどの工夫しようとしている。 カット＆ペーストとコピー＆ペーストの違いを理解し、選択して使うことができる。 作成した文書を、ハードディスクやフロッピーディスクに保存する方法を説明できる。	作成文書 ワークシート
	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	情報を整理し、利用目的に合った文書を考えることができる。 文書処理ソフトウェアを用いた文書の入力および機能を生かした文書の加工操作ができる。	作成文書
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器，ワークシートの活用		
課題・提出物等		ワークシート・文書作成シート(授業中にプリントアウトして，提出する。)		
未到達者への対応				
総合的な学習の時間，道徳(教育)，特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成		

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教科	技術	科目		期間	1学期後半（期末試験）
中高・学年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	8 / 39	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(文書処理, 図形処理)				
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解			主な評価方法
5	6 情報を活用するための手順を整理しよう	情報活用の手順「収集, 判断, 処理, 表現, 保存, 発信」	情報活用の手順を理解し, 目的に合わせた情報の収集から処理・表現までの方法を説明できる。			行動観察 ワークシート
	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	情報を整理し, 利用目的に合った文書を考えることができる。 情報を整理し, 利用目的に合った文書を考えることができる。			ワークシート
6	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	情報を整理し, 利用目的に合った文書を考えることができる。 文書処理ソフトウェアを用いた文書の入力および機能を生かした文書の加工操作ができる。			作成文書
	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能と保存	文書処理ソフトウェアの機能を生かし, 意欲的に文書の加工操作ができる。 文書処理ソフトウェアを用いた文書の入力および機能を生かした文書の加工操作ができる。			行動観察
	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能と保存	文書処理ソフトウェアの機能を生かし, 意欲的に文書の加工操作ができる。 情報を整理し, 利用目的に合った文書を考えることができる。			行動観察
	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能と保存	情報を整理し, 利用目的に合った文書を入力することができる。 文書の入力方法および, 見やすく整った文書にするための機能を説明できる。			作成文書 行動観察
7	2 文章を作ってみよう	文書処理ソフトウェアの機能と保存	情報を整理し, 利用目的に合った文書を入力することができる。 文書の入力方法および, 見やすく整った文書にするための機能を説明できる。			作成文書 行動観察
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器の活用, ワークシートの活用				
課題・提出物等		ワークシート・文書作成シート（授業中にプリントアウトして, 提出する。）				
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習				
総合的な学習の時間, 道徳(教育), 特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	技術	科目		期間	2学期前半
中高・学年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	7/39	副教材 1	
副教材 2		副教材 3		副教材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(データベース処理) 情報を発信することを理解させるとともに情報発信における自己責任, プライバシーの保護, 著作権の保護の重要性を理解させる。			
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解		主な評価方法
8	情報とわたしたちの生活	生活を豊かにするコンピュータ	生活の様々な場面でコンピュータが利用されるようになった理由に関心を持ち, 進んで考えようとしている。		行動観察
	1 コンピュータのしくみと基本操作	コンピュータを使いこなすために	コンピュータの基本操作を身に付けることの大切さを知り, 実践に結びつけることができる。		行動観察
9	1 コンピュータを構成するものを調べよう	ハードウェア	コンピュータ本体の働きを理解し, 処理装置・主記憶装置・補助装置などについて説明することができる。		ワークシート
	2 コンピュータの利用	いろいろできるコンピュータ	使用目的に応じてコンピュータの機能を生かした活用ができる。		行動観察
	1 ソフトウェアについてしらべてみよう	ソフトウェア, 応用ソフトウェアの選択	ハードウェアとソフトウェアのちがいに気づき, 目的に合った仕事をするためにソフトウェアが必要であることを進んで考えようとしている。 ソフトウェアの必要性を理解し, 基本ソフトウェアと応用ソフトウェアのちがいを考え, 仕事に合ったソフトウェアを選ぶことができる。		行動観察
	5 データベースを利用してみよう	データベース処理ソフトウェアの機能	データベース登録されている情報から, 条件に合うものを検索して探すことができる。 データベース処理ソフトウェアの特徴と利用方法について説明できる。		行動観察
	3 情報通信ネットワークの利用	ネットワークのネットワーク	情報通信ネットワークが, 現在の生活にどのように活用されているか具体例を説明できる。		ワークシート
	1 インターネットの情報を見てみよう	Web ページの構造・閲覧 インターネットで情報を集めよう	ブラウザを適切に使用し, URL および検索サービスを用いて, 目的の Web ページを閲覧する操作ができる。 検索サービスの分類メニューを用いて, 意欲的に必要な情報を収集しようとしている。 検索サービスのキーワード検索を用いて, 情報の検索および収集ができる。		行動観察 行動観察
指導方法の工夫改善等	視聴覚機器の活用, ワークシートの活用				
課題・提出物等	ワークシート				
未到達者への対応					
総合的な学習の時間, 道徳(教育), 特別活動等との関連等	情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	技 術	科 目	期 間	2 学期後半(期末試験)
中 高・学 年	中 学 校・2 年	授 業 時 数 期 間 / 年 間	9 / 3 9	副 教 材 1
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4

到達度目標 (含定期テスト)		情報の伝達方法の特徴や利用方法を理解させる。また、情報を収集・判断・処理することを身に付けさせるとともに、設定された課題に取り組ませる。情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりを理解させる。また、情報化が社会や生活に及ぼす影響を知らせ、情報モラルの必要性を理解させる。		
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法
10	4 情報伝達の方法を調べてみよう	情報伝達の形式 情報の活用と伝達方法の選択	複数の分類メニューを利用して情報を収集している。	行動観察
	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の作成	マルチメディアの利用例について資料を用意し、調べようとしている。	ワークシート
	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の作成	各ページの構想を図に表すことができる。	ワークシート
	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の作成	著作権の意味を理解し、必要な情報を適切に収集することができる。	行動観察
	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の作成	複数のメディアの素材を収集、判断、処理できる。	行動観察
11	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の完成と評価	リンクを設定し、複数のメディアの素材を複合してWebページを完成することができる。	作 品
	4 マルチメディア作品を完成させよう	マルチメディア作品の完成と評価	作品がわかりやすいものかどうかを評価することができる。また、アドバイスを生かし適切に改善ができる。	作 品
	5 情報伝達の安全性とマナーを考えよう	コンピュータを用いた情報伝達の問題点 著作権	情報伝達の問題点に関する情報を収集することができる。 情報通信ネットワークを利用するうえでの著作権保護について説明できる。	ワークシート
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器の活用，ワークシートの活用		
課題・提出物等		ワークシート，作品		
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習		
総合的な学習の時間，道徳(教育)，特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成		

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	技 術	科 目	期 間	3 学期（学年末試験）
中 高 ・ 学 年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	11 / 39	副 教 材 1
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4

到達度目標 (含定期テスト)		ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(表計算処理) プログラムの機能を理解させプログラムを作成し、簡単な計測・制御を行わせる。		
月	単元・題材	主たる指導項目	主 要 評 価 規 準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法
12	4 表計算をしてみよう	表計算処理ソフトウェアの機能	表計算処理ソフトウェアの機能に関心をもち、コンピュータを積極的に操作しようとしている。	行動観察
1	4 表計算をしてみよう	表やグラフの作成	ワークシートの意味を考え、表の作成や計算処理・グラフ化に進んで取り組もうとしている。	行動観察
	4 表計算をしてみよう	表計算処理ソフトウェアの機能	表の作成や数値データをもとに、計算処理やグラフの作成ができる。	作成文書
	4 表計算をしてみよう	表計算処理ソフトウェアの機能	情報を整理し、入力したデータの計算処理や計算結果をもとにグラフ化することができる。	作成文書
	4 表計算をしてみよう	表計算処理ソフトウェアの機能	計算処理やグラフ作成の手順を説明できる。 表の作成や数値データをもとに、計算処理やグラフの作成ができる。	ワークシート
2	5 プログラミングと計測・制御	プログラミング言語	コンピュータを利用している機器などを日常生活の中から見つけ、それを働かせているプログラムの役割と機能について自分で調べまとめている。	ワークシート
	1 簡単なプログラミングを作成しよう	選択と繰り返し	サンプルプログラムをもとに、組み合わせたり、データなどの入れ替えによる簡単なプログラムの作成・編集ができる。	ワークシート
	1 簡単なプログラミングを作成しよう	プログラミング言語、選択と繰り返し	簡単なプログラムの作成に関する知識を身に付けている。	ワークシート
3	1 簡単なプログラミングを作成しよう	プログラミング言語、選択と繰り返し	簡単なプログラムの作成を行い、情報処理の手順を工夫している。	ワークシート
	1 簡単なプログラミングを作成しよう	プログラミング言語、選択と繰り返し	制御模型が迷路を抜ける課題を解決するためのプログラムの作成ができる。	ワークシート
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器の活用，ワークシートの活用		
課題・提出物等		ワークシート・文書作成シート（授業中にプリントアウトして，提出する。）		
未到達者への対応		放課後を活用して補充学習		
総合的な学習の時間，道徳（教育），特別活動等との関連等		情報機器活用力・情報活用力・表現力の育成		

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(年間指導項目)

教科	技術科
科目	
中高・学年	中学校・2学年
単位数	
年間授業時数	39時間

教科書	東京書籍
副教材 1	
副教材 2	
副教材 3	
副教材 4	

到達度目標			
実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。(ものづくり及びコンピュータに関する学習を通して将来の人間形成に生かされる技術的素養の育成をめざす。)			

備考	
日本語ワープロ検定3級以上を取得 表計算検定4級を取得	

指導期間	1 学期前半 (中間試験)				1 学期後半 (期末試験)				2 学期前半 (中間試験)				2 学期後半 (期末試験)				3 学期 (学年末試験)			
到達度目標 (各課時分)	キーボードの操作を身に付けさせ、ソフトウェアの機能を理解させる。 コンピュータの基本的な構成と機能を理解させるとともに、コンピュータの起動、終了、マウスの操作を身に付けさせる。				ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(文書処理、図形処理)				ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(データベース処理) 情報を発信することを理解させるとともに情報発信における自己責任、プライバシーの保護、著作権の保護の重要性を理解させる。				情報の伝達方法の特徴や利用方法を理解させる。また、情報を収集・判断・処理することを身に付けさせるとともに、設定された課題に取り組みさせる。 情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりを理解させる。また、情報化が社会や生活に及ぼす影響を知らせ、情報モラルの必要性を理解させる。				ソフトウェアの特徴と利用方法を理解させる。(表計算処理) プログラムの機能を理解させプログラムを作成し、簡単な計測・制御を行わせる。			
標準テスト等の目標																				
学 習 項 目	時間	主たる指導項目	教 材 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 材 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 材 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 材 頁	副 材 頁	時間	主たる指導項目	教 材 頁	副 材 頁
	2 コンピュータを起動しマウスを使ってみよう					6 情報を活用するための手順を整理しよう				情報とわたしたちの生活				4 情報伝達の方法を調べてみよう				4 表計算をしてみよう		
1	コンピュータの起動、終了、マウスの操作	136~137			1	情報活用の手順「収集、判断、処理、表現、保存、発信」	156~157		1	生活を豊かにするコンピュータ	130~131		1	情報伝達の形式	172~173		1	表計算処理ソフトウェアの機能	154	
3 キーボードを操作してみよう					2 文章を作ってみよう				1 コンピュータのしくみと基本操作				情報の活用と伝達方法の選択				2	表やグラフの作成	155	
2	文字の入力・削除 漢字変換	138~139			2	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	148~149		2	コンピュータを使いこなすために	132~133		4 マルチメディア作品を完成させよう				3	表計算処理ソフトウェアの機能	154~155	
4 文書を作成し、保存してみよう					3	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	148~149		1 コンピュータを構成するものを調べよう				2	マルチメディア作品の作成	186~187		4	表計算処理ソフトウェアの機能	154~155	
3	カット、コピー・ペースト、フォルダと階層	140~141			2 文章を作ってみよう				3	ハードウェア	134~135		3	マルチメディア作品の作成	186~187		5	表計算処理ソフトウェアの機能	154~155	
2 文章を作ってみよう					4	文書処理ソフトウェアの機能と保存	148~149		2 コンピュータの利用				4	マルチメディア作品の作成	186~187		5	プログラミングと計測・制御		
4	文書処理ソフトウェアの機能「ものづくり作品カード」の作成	148~149			5	文書処理ソフトウェアの機能と保存	148~149		3	いろいろできるコンピュータ	144~145		5	マルチメディア作品の作成	186~187		1	簡単なプログラミングを作成しよう		
					6	文書処理ソフトウェアの機能と保存	148~149		1 ソフトウェアについてしらべてみよう				6	マルチメディア作品の完成と評価	186~187		6	プログラミング言語	192~198	
					7	文書処理ソフトウェアの機能と保存	148~149		4	ソフトウェア、応用ソフトウェアの選択	146~147		7	マルチメディア作品の完成と評価	186~187		7	選択と繰り返し	192~198	
					8	一学期末試験			5 データベースを利用してみよう				5	情報伝達の安全性とマナーを考えよう			8	プログラミング言語、選択と繰り返し	192~198	
									5	データベース処理ソフトウェアの機能	154~155		8	コンピュータを用いた情報伝達の問題点	174~175		9	プログラミング言語、選択と繰り返し	192~198	
									3 情報通信ネットワークの利用				著作権			10	学年末試験			
									6	ネットワークのネットワーク	164~165		9	二学期末試験			11	プログラミング言語、選択と繰り返し	192~198	
									1 インターネットの情報を見てみよう											
									7	Webページの構造・閲覧	166~169									
										インターネットで情報を集めよう										
備考					授業ノートの提出(期末試験日) 日本語ワープロ検定4級(7月上旬)				日本語ワープロ検定3・4級(10月上旬)				授業ノートの提出(期末試験日) 日本語ワープロ検定3級以上(12月上旬)				授業ノートの提出(期末試験日) 表計算検定4級(2月中旬)			